

台湾視察ツアー内容

◆台北国際食品展 (FOOD TAIPEI 2025)

【開催期間】2025年6月25日～26日

【開催場所】Taipei Nangang Exhibition Center, Center Hall 1&2

【開催時間】10:00～18:00

出展対象品目 生鮮青果、農産物加工品、家禽製品、シーフード、食肉と食肉加工品、食用油、乳製品、健康食品、冷凍食品、缶詰類、焼き菓子、ビスケット、ワイン&アルコール飲料、コーヒー&紅茶、ジュース&清涼飲料、調味料&菓子類など

主催者より FOOD TAIPEI は台湾最大の食品見本市で 台湾のトレンド食材はもちろん、日本を含む世界各国から毎年数多くの企業が出展します。海外市場開拓の可能性、注目される台湾食材の輸入など是非一度見に来てください。

業種 農林水産・食品/農林水産物
農林水産・食品/食・飲料、食品加工

過去の実績 2023年実績
来場者数：46539人（うち海外から：5252人）
出展社数：1053社

◆視察先・懇談会・見学先

■軒泰食品（学校給食の食材—物流配送業者）

1999年に設立され、各級学校の給食、公的機関の食堂、または企業や団体の社員食堂で必要とされる食材を提供しています。2015年にHACCP認証を取得し、近年では4万食の実績を持っています。現在、桃園で唯一のHACCP物流工場です。

■宏園運銷合作社—生産履歴野菜産地（TGAP野菜）

2018年に設立され、有機認証を取得した短期葉菜類の栽培を主力としています。軒泰食品と連携し、真空予冷設備を備えることで食材の鮮度を保っています。有機農家は18軒で認証面積は41ヘクタールに達し、4軒が生産履歴認証を取得しています。現在、台北市、新北市、桃園市の多くの中小学校に有機野菜と生産履歴野菜を供給しています。有機生態環境教室を設置し、学校での食農教育を実施しています。

■大得利家畜加工工場（CAS認証工場）

台湾で初めて申請を通過した民営の豚屠殺場です。国内市場のニーズに応じた専門的な屠殺モデルを採用し、民国82年（1993年）から分割加工業務を展開しました。口蹄疫の発生後も継続して学び、多くの製品でCAS認証を取得し、HACCPおよびISO22000の国際ダブル認証を受けた生産工場です。自社ブランド「益之豚（えきのぶた）」を設立し豚の飼育、屠殺、分割加工といった各段階において、最も慎重な管理を徹底しています。冷凍製品だけでなく、冷蔵製品の発展性にも力を入れ、温度管理の品質を徹底しています。また高性能な冷蔵肉製品の分割加工設備を導入しています。

■品元実業株式会社（加工澱粉）

生産（ISO 22000/HACCP）では、プレミックス粉やタピオカパールを手掛けています。工業用デンプンは輸入後に販売（製造は行わない）しています。生産・製造および原料輸入に加え、当社のサービスとして、お客様に最適なレシピと製品技術サポートを提供しています。

■台湾HACCP協会：会長との懇談会

現地で会長との懇談会を予定しております。

■ロピア環球新北中和店

2024年2月1日オープン：台湾には現在5店舗展開（台北近郊・台中・高雄）
Global Mall（ショッピングセンター）のB2F 営業時間：11:00～22:00

■全聯福利中心Pxmart（スーパーマーケット）

1998年10月に創業したPXマートは、全国に1,000店舗以上を展開する台湾の大手小売チェーンです。PXマートは「本当に安い」をモットーに、コンビニエンスストアやハイパーマーケットよりも安い商品を販売し続け、消費者物価の安定という、かつて公務員や軍人のための駐屯地の売店が果たしていた役割を担っています。2008年、PXマートは生鮮食品市場に参入し、食の安全を原点から管理することを選択し、その後、最大の生鮮食品スーパーマーケットチェーンとなりました。

■ドン・ドン・ドンキ City Link 南港店

2023年8月22日開店。売り場面積1156平方メートル。ターミナル駅「南港駅」に直結する複合施設CITY LINKの3階にオープン。売り場では台湾のDON DON DONKIで初となる「和牛弁当」も販売しています。DON DON DONKIはパン・パシフィック・インターナショナルホールディングスが運営しています。